



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織  
 佐賀県ユニセフ協会通信 (No. 106) uniwish33号 (2020年4月)  
 佐賀県佐賀市水ヶ江四丁目2番2号  
 (電話・FAX) 0952-28-2077  
 (業務時間) 月・火・木・金 10:00~15:00  
 E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp  
 ホームページ <http://www.saga-unicef.jp/>  
 facebook <http://www.facebook.com/unicef.saga>

## 新型コロナウイルスの子どもへの影響 教育、栄養、暴力、健康 <国連に寄る新報告書>

【2020年4月16日 ニューヨーク発】

新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックが加速するなか、迫り来る世界的な不況は、今年さらに数十万人の子どもを命を奪い、乳児死亡率の低下における近年の成果が大きく覆す恐れがあることを、16日に発表された国連報告書が明らかにしました。

### ◆新型コロナウイルスの子どもへの影響

本報告書では、パンデミック、そしてその対策が社会や経済に及ぼす影響が、世界の何百万人もの子どもたちにとって深刻なものになる可能性について指摘しています。

教育、食料、安全や保健を含む、主要な分野で危機がどのように子どもたちを危険に晒しているのかについて説明しています。



© UNICEF/UNI312343/McIlwaine  
 臨時休校を受けて閉鎖されたリッジフィールドの小学校の校庭。(米国、2020年3月18日撮影)

### ◆ロックダウン下の教育

パンデミックによって、世界のほぼすべての子どもが学校に通えない状況にあります。約190カ国で休校措置がとられ、15億人の子どもと若者に影響を及ぼしています。本報告書は、子どもたちの今日の学習、そして将来の成長における影響を測るのは困難だと述べています。



© UNICEF/UNI321506/Fazel  
 マザーリシャリーフでCOVID-19啓発のためのリーフレットを手にする男子の子。(アフガニスタン、2020年4月15日撮影)

### ◆数百万人が学校給食を逃している

もう一つの重要な懸念事項は子どもの栄養だと、本報告書は指摘しています。パンデミック以前でさえ、子どもの栄養不良と発育阻害は許容できない水準にありましたが、学校が休みのため、給食を頼りにしていた約3億6,800万人の子どもたちが、日々の栄養を摂取できずにいます。一方、急に実施されたロックダウンによって、食品業界のサプライチェーンと地域の市場が混乱するリスクが生まれ、食品が手に入らないという重大な脅威をもたらしています。



© UNICEF/UNI317187/Ryeng  
 ジュバのNyakuronプライマリ・ヘルスケア・センターで、経口ポリオワクチン(OPV)を投与される生後4カ月のアミンちゃん。(南スーダン、2020年3月24日撮影)

### ◆子どもの健康への影響

これまでのところ、COVID-19における子どもの感染率は「非常に低い(far milder)」ですが、本報告書では、子どもの健康において広範で深刻な影響があることを指摘しています。COVID-19の患者であふれている病院や保健医療施設では、子どもたちが通常通りのケアを受けることが難しくなっています。失職したり、収入が減少している世帯は、生活に不可欠な医療費と食費の削減を余儀なくされ、特に子ども、女性、授乳中の母親に影響を及ぼしています。



© UNICEF/UNI321594/El-Dalil  
 カイロの自宅で待機している間、父親とスモージー作りを楽しむ女の子。(エジプト、2020年3月27日撮影)

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) ユニセフの対応



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界中で 231万人以上の感染が確認され、15万7千人以上が命を落としています。

(4月20日時点:WHO状況レポートより)

感染は急速に拡大しており、紛争や自然災害、気候変動によってすでに人道危機に直面していた国々に広がっています。

国連は3月25日、南米、アフリカ、中東、アジアの5カ国において、新型コロナウイルス対応のために20億米ドル規模の世界的な人道支援計画を立ち上げました。

これに先立ち、ユニセフは新型コロナウイルス感染が報道され始めた1月初めから、当時感染拡大の中心であった中国への物資支援(医療従事者向けの防護服、学校・公的保健施設向けの衛生用品等)と、新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報の継続的な発信を続けてきました。

3月の国連の人道支援計画発表に伴い、特に医療体制が不十分な途上国などの感染拡大を防止し、困難な状況にある子どもたちと家族の命を守るため、ユニセフはさらなる支援の計画を策定し、実行に移しています。

そして4月3日、新型コロナウイルスから、最も弱い立場にある子どもを守るため、世界が連携した行動をとるよう呼びかけました。

# 新型コロナウイルスで 子どもの99%が移動制限下 深刻な影響防ぐ、ユニセフ行動指針を発表！

【2020年4月9日 ニューヨーク発】

ユニセフ(国連児童基金)事務局長のヘンリエッタ・フォアは、新型コロナウイルス(COVID-19)に対するユニセフの行動指針について以下の声明を発表しました。

## <子どもの99%が何らかの移動制限を受ける>

世界はいま、共にウイルスという見えない敵と闘っています。

COVID-19に感染している子どもや若者に限らず、すべての子どもたちは深刻な影響を受けています。パンデミックの子どもへの影響に対処するために今行動を起こさなければ、その影響は私たちの共通の未来に永久的に及んでしまうでしょう。

分析によると、世界の18歳未満の子どもと若者の99パーセント(23億4,000万人)が、COVID-19により何らかの移動制限を受けている186カ国のいずれかに暮らしています。また、すべての子どもの60パーセント(14億人)が、完全(7%)または部分的(53%)にロックダウンされている82カ国のいずれかに暮らしています。

## <子どもたちを守るための行動指針>

今週、ユニセフは最も弱い立場に置かれた子どもたちを守るための行動指針を打ち出しました。指針は以下の6つの柱からなります。

- 1.子どもの健康を保つ
- 2.子どもたちの継続した学びを支援する
- 3.子どものいる家庭を支援する
- 4.暴力、搾取、虐待から子どもを守る
- 5.弱い立場に置かれた子どもに水と衛生の支援を提供する
- 6.難民や移民の子ども、紛争の影響を受ける子どもたちを保護する



© UNICEF/UN0285178/Ralaivita  
母親から繰り返し身体的虐待を受けた経験をもつ8歳のマヘリーくん。(マダガスカル、2019年2月撮影)  
※本文との直接の関係はありません。

## 新型コロナウイルスの陰で子どもへの暴力リスクの高まりに強い懸念 ユニセフ等が共同声明

【2020年4月8日 ニューヨーク発】

ユニセフ(国連児童基金)、「子どもに対する暴力撲滅グローバル・パートナーシップ」(GPeVAC)をはじめ、子どもに対する暴力の問題に取り組む世界のリーダーたちは、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な拡大の陰で増加する子どもたちのリスクについて、以下の共同声明を発表しました。

「子どもに対する暴力撲滅グローバル・パートナーシップ(GPeVAC)」は、各国政府、国連機関、民間セクター、市民社会、研究者、若者たちが、2030年までに子どもへの暴力を撲滅するという、持続可能な開発目標(SDGs)に掲げられた、国際社会の新たなターゲット達成のために協力する取組みです。2016年に始まり、ユニセフをはじめ子どもへの暴力撲滅に取り組む多くの団体が参加しています。

16-2 子どもに対する虐待、搾取、人身売買およびあらゆる形態の暴力および拷問を撲滅する

## <子どもに対する暴力: COVID-19の世界的大流行に隠された危機>

今回の共同声明は、ユニセフとGPeVAC、WHO(世界保健機関)、Special Representative of the Secretary-General on Violence against Children、Save the Children Internationalなど、さまざまな機関が署名。新型コロナウイルスのパンデミックは各国に破壊的な影響を及ぼしており、ウイルスを封じ込める努力は健康を守るために不可欠だが、同時に、子どもたちを虐待、ジェンダーに基づく暴力、性的搾取を含めた暴力のリスクに晒すと危惧しています。

## 30億人が家で手洗いでできず 弱い立場に置かれた子どもに水と衛生の支援を提供する



最新のデータによると、基本的な手洗い設備が自宅にあるのは、世界で5人のうち3人に限られています。

世界人口の40パーセント、30億人が、石けんと水で手を洗う設備が自宅にありません。開発途上国の4分の3近くの人々は、基本的な手洗い設備が自宅にありません。

47パーセントの学校には石けんと水で手を洗う設備がなく、9億人の学齢期の子どもたちに影響を及ぼしています。世界の学校の3分の1以上、および開発途上国の学校の半分には、子どもが手を洗う場所がまったくありません。

ユニセフは、これらの子どもを優先して支援するよう政府に呼びかけます。また、より多くの子どもたちが基本的な水と衛生設備を利用できるように、資金と支援を緊急に要請しています。



© UNICEF/UNI316542/Pacific  
正しい手洗いの実演をするバヌアツの子どもたち。(2020年4月1日撮影)

ユニセフ・シアター unicef 

# 風をつかまえた少年

実話ベストセラーを映画化！



イギリス 2018年作【日本語字幕】

対象：小学校高学年以上大人まで

本作の舞台となるのは、2001年に大きな干ばつが襲ったアフリカの最貧国マラウイ。貧困のため通学を断念した14歳の少年ウィリアム・カムクワンバが、図書館で出合った1冊の本を元に、独学で廃品を利用した風力発電を作り上げ、家族と自身の未来を切り開いた実話をベースにした映画です。

©2018 BY THE BRITISH BROADCASTING CORPORATION / THE BRITISH FILM INSTITUTE / PARTICIPANT MEDIA, LLC

監督・脚本・出演：キウエテル・イジョフォー 配給元：(有) ロングライド  
出演：「風をつかまえた少年」マックスウェル・シンバ、アイサ・マイガ  
原作：ウィリアム・カムクワンバ、フライアン・ミーラー



要予約  
入場無料

【文部科学省特別選定】この本は、瞬く間に話題となり世界23カ国で翻訳。アル・ゴア元副大統領、ジャーナリストの池上彰氏も絶賛し、11年には社団法人全国図書館協議会の夏休みの本にも選出された。



★日時：2020年7月19日(日) 13:30~15:45 (13:10開場)

\*ユニセフ・シアターの前に20分ほど、NPO法人テラ・ルネッサンス佐賀事務所の 島 彰宏さんが、「僕13歳、職業兵士 ~アフリカのもと子ども兵が教えてくれたこと~」の話を紹介されます。

★場所：佐賀市立図書館 2F多目的室(佐賀市天神3丁目2-15) ☎ 0952-40-0001

★定員：80人(6月19日<金>からの受付申し込み先着順)

【主催】ユニセフ・シアター 2020 実行委員会

【後援】佐賀県・佐賀県教育委員会・佐賀市・佐賀市教育委員会・佐賀新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社  
毎日新聞社・読売新聞西部本社・NHK佐賀放送局・サガテレビ・エフエム佐賀・NBCラジオ佐賀

【問い合わせ先】\*佐賀県ユニセフ協会 〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL/FAX 0952-28-2077

## 「ユニセフチャリティーバザー」延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、世界中で191万人の感染が確認され、12万3千人が命を落としています(4月15日時点:WHOより)。感染は急速に全世界に拡大しており、紛争や自然災害、気候変動によってすでに人道危機に直面していた国々にも広がっています。ユニセフは、WHOはじめ国連の組織全体と連携しながら最も厳しい状況にある子どもたちの支援を行っています。

日本でも全都道府県に「緊急事態宣言」が発出され、国民の日々の生活にもコロナウイルスの脅威が迫ってきています。

佐賀県ユニセフ協会では、5月17日に「ユニセフ チャリティーバザー」を企画していましたが、現状での感染予防のために、延期をさせていただきます。

「ユニセフ チャリティーバザー」再度開催の折には、ご連絡をいたします。その時には、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2020年4月16日

佐賀県ユニセフ協会 ユニセフチャリティーバザー実行委員会

### 第27回 ユニセフチャリティーバザー



2020年5月17日(日)14:00~15:30

佐賀玉屋 南館アーケード

完売次第終了

#### バザー品ご提供のお願い

- ☆日用雑貨品、タオル類、陶磁器、寝具類、洗剤類 等 (未使用のもの)
- ☆食料品 (賞味・使用期限内のもの)
- ☆その他

#### 当日ボランティア募集

- ☆会場での売り子ボランティア
- 5月17日(日)13時~16時
- ☆多くのお客様に対応するために
- ご協力をお願いします

〈主催〉 ユニセフチャリティーバザー実行委員会 〈協力〉 佐賀玉屋デパート  
〈お問合せ〉 佐賀県ユニセフ協会 〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2  
TEL & FAX 0952-28-2077 E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp



★新型コロナウイルス防止のため、佐賀県ユニセフ協会でも例年実施していますいろいろなイベントを延期や中止をさせていただいています。関係者の皆様、中止へのご理解と延期への再度のご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

【延期及び中止イベント】

- \* 「3. 1 1わすれない」パネル展・・・ 3月に中止
- \* サガン鳥栖 ホーム戦での募金活動・・・延期
- \* 有田陶器市会場での募金活動・・・延期
- \* ユニセフチャリティーバザー・・・延期
- \* 鹿島ガタリンピックでの募金活動・・・中止

- 1月11日（土）、2月11日（火）  
「幸せのイエローシートキャンペーン」参加  
＜イオン 佐賀大和店＞



- 1月8日（水）、15日（水）神崎市ドリームパーク出前授業 『やってみよう ボランティア』＜仁比山小学校＞  
内容：SDGsってなあに？  
やってみようボランティア（自分にできること）  
対象：神崎市立仁比山小学校 夢組 17名 星組 23名



- 2月5日（水）、2月12日（水）神崎市ドリームパーク出前授業  
『やってみよう ボランティア』  
内容：SDGsってなあに？  
やってみようボランティア（自分にできること）  
対象：神崎市立千代田西部小学校 夢組 星組 20名

＜千代田西部小学校＞



- 2月14日（金）佐賀県立ろう学校中学部生徒 事務所訪問 生徒4名 先生2名  
\*使用済み切手、書き損じはがきなどの寄贈  
\*ユニセフ学習「世界の子ども達とユニセフ」



- 2月17日（月）佐世保市立鹿町小学校 募金贈呈並びに「総合的な学習の時間」の出前授業  
鹿町小学校 5年生 16名  
\*米作りでの収益金の募金贈呈  
\*ユニセフ学習「ユニセフと世界の友だち」



- 2月22日（土）トヨタ紡織ハンドボールチームレッドトルネード試合後の募金活動  
レッドトルネード VS 湧永製薬 ＜神埼中央公園体育館＞



- 3月14日（土）佐賀県ユニセフ協会 2020 理事・評議員役員会  
\*2019年度業務報告、及び会計報告  
\*2020年度事業計画、及び予算案  
\*意見交換

＜佐賀新聞社 会議室＞



- 3月17日（火） 北部児童センターより募金贈呈  
(新型コロナウイルスで児童館閉鎖のため末次館長様が事務所に持参)



# 出前授業

こんなことを  
しています

★佐賀県ユニセフ協会では、ユニセフの理解を広げるための広報・啓発活動に取り組んでいます。出前授業を通して「子どもの権利条約」や「持続可能な開発目標SDGs」をテーマに、世界の子どもたちが直面している問題について伝え、自分たちに何ができるかを考え、行動につなげる取り組みを進めています。

★2019年度は、幼・小・中・高等学校への出前授業を20回行いました。小学校「放課後ドリームパーク」と中学校での出前授業の一部を紹介します。

(1) 神崎市「放課後ドリームパーク」 5つの小学校夢組・星組で7回の出前授業をしました。  
テーマ：「SDGsってなに？」 「やってみようボランティア」

**“佐賀県ユニセフ協会オリジナルグッズ”で楽しく学び、生き生きと活動する！！**

◆神崎市社会教育課では、『ドリームパーク』を開いて、放課後の小学校を子どもたちの安心・安全な居場所として開放しています。『ドリームパーク』では、“遊ぶ・作る・学ぶ・体験する”などの活動を通して、子ども達が豊かにのびのびと育つことを願われています。



「輪投げ」と「ルーレットゲーム」でSDGsを学ぶ



世界にはたくさん  
の問題があること  
を知りました。



「使用済み切手の整理」ボランティアに励む



使用済み切手90gで「ビタミンA」を13人の子どもに贈れます。

自分のできる  
ことをやって  
みました。

◆今、地球には、飢餓や貧困、異常気象や温暖化など緊急に解決しなければならない問題が山積みです。

佐賀県ユニセフ協会では、子ども達がオリジナルのSDGsゲームを通して、「SDGs」って何だろう？と考え、地球の様々な問題について知り、自分たちにもできるボランティアをやってみようという行動を起こしました。子ども達にとってやりがいのある活動となりました。

(2) 嬉野市立吉田中学校 1年生～3年生「総合的な学習の時間」 テーマ：SDGsとユニセフ  
太良町立多良中学校 3年生 「英語」 テーマ：国際協力

★吉田中学校では、中学1年生から中学3年生まで「SDGsについて」のテーマで総合的な学習を進めておられました。

今回は、“SDGsの目指すもの”について深く学びたいという生徒や先生方の思いがあり、日本では、気候変動(異常気象)について、今年の豪雨体験で実感することもありましたが、貧困や飢餓、紛争や干ばつ等については実感することができないため、世界の子ども達の現状をユニセフ活動を通して知り、自分は何をすべきか考え、行動に繋がりたいということで出前授業の依頼がありました。

- 【授業内容】
- ①ユニセフ活動を通して世界の子ども達の現状を知る。
  - ②世界を変える17の目標SDGsが目指すものについて学ぶ。
    - 格差や不平等をなくそう
    - 暴力差別をなくそう
    - 地球環境を守ろう
  - ③自分のできる『わたしの行動宣言』を“SDGsしおり”に書き家庭、学校などで行動を起こそう。“ムーブメントを起こそう”

**中学生には、ユニセフ活動・SDGs・国際協力などの様々な情報提供！！**



“SDGs しおり” 『わたしの行動宣言』を書く生徒

★多良中学校3年生の皆さんは、英語の時間に「What is the Most Important thing to you?」(国際協力)の学習をします。その導入として、国際協力を実際に行っている「ユニセフの活動」について学びたいということで出前授業の依頼がありました。

★佐賀県ユニセフ協会では、「ユニセフと世界のともだち ～知る、考える、実行する 自分のできる～」というテーマで授業を行いました。1人1人の生徒が“国際協力”という視点から世界の子ども達の現状について知り、SDGs持続可能な世界を築くために自分たちができることを考えたり、発信したり、行動を起こしたりしてくれることを願って授業を進めていきました。また、国際貢献をされた中村哲医師や中国四川省大地震の時、日本から派遣されたレスキュー隊員の皆さんの活動の紹介なども行いました。中学生の授業では、発達段階に応じて、自分のできることを考えるための質の高い情報を提供することに努めました。



“中村哲医師”



“四川省大地震に派遣されたレスキュー隊員の皆さん”

## \* マンスリーサポート プログラム



ご自由にお決めいただいた金額を、月々の自動振替によって継続的にご協力いただく募金プログラムです。

お申込みの方に  
ユニセフ・エコバッグ進呈中!

## ユニセフ募金の紹介

南アジア、サハラ以南のアフリカの**3人に1人**、世界で、**1億4000万人**もの**慢性栄養不良**の子どもがいます。

## \* ユニセフ募金

子どもたちを守るユニセフの活動全体を支えます  
保健、栄養、水と衛生教育、子どもの保護など、150以上の国と地域で行われているユニセフの活動全体を支えていただく大切な募金です。



ICJUNICEF/AMHQ2012-0176/Asselin

## \* 緊急・復興募金

地震や津波、洪水、台風などの自然災害や、紛争で被災した子どもたちのための緊急・復興支援活動を支える募金です。

- ・シリア緊急募金
- ・ロヒンギャ難民
- ・アフリカ栄養危機緊急募金
- ・新型コロナウイルス緊急
- ・自然災害緊急募金
- ・人道危機緊急募金



© UNICEF/WHO/World Bank Group Joint Child Malnutrition Estimates

慢性栄養不良の5歳未満児の割合 (2018年)



## \* 分野・地域指定募金

特定の活動分野や地域を指定して、ご支援いただく募金です

水と衛生、HIV/エイズなど特定のユニセフの活動分野や、ユニセフが活動を行っている国・地域を指定してご支援いただける募金です。



© 日本ユニセフ協会/2010/satomi matsui



ご支援  
ありがとうございます

天山カントリークラブ北コース様 神崎市姉石油様 佐世保市立鹿町小学校5年生様 トヨタ紡織九州  
レッドトルネード様 JA佐賀県女性組織協議会様 唐津市立長松小学校様 コープさが生活協同組合  
様 北部児童センター様 グランデはがくれ様 母子草様

(順不同:2020年1月1日 ~2020年4月30日)

※ いろいろな形でのご支援ご協力で心から感謝申し上げます。  
個人の皆さま方からもたくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、この欄でのご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきます。



### 賛助会員募集中！ 日本ユニセフ協会賛助会員としてご協力ください。

(公益財団法人日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の対象になります。)

### 日本ユニセフ協会賛助会員とは

日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー（政策提言）活動を担う日本ユニセフ協会を、賛助会費によって支援していただく協力方法です。賛助会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にさせていただくことができます。

### 賛助会員の種類と期間

1. 一般賛助会員 1口 5,000円…個人の方が対象
  2. 学生賛助会員 1口 2,000円…学生の方が対象
  3. 団体賛助会員 1口100,000円…企業、団体、有志のグループなどが対象 期間は、1年ごとの更新。
- ❖ 詳細については、佐賀県ユニセフ協会までお問い合わせください。

# unwish の仲間たち!

## 佐賀県立鳥栖商業高等学校 インターアクト部 のみなさん —鳥栖市—



鳥栖商業高等学校インターアクト部の皆さん

佐賀県立鳥栖商業高校は、2018年度より、『地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト』に取り組んでいます。

目的は、鳥栖市および周辺地域のまちづくりや地域課題について深く学びながら、それらの解決策を考案したり様々な体験活動を行ったりすることにより、本校と地域の魅力を発信すると共に地域を愛する心を育み、地域の発展に貢献する人材育成を目指しています。

鳥栖商業高校は、ボランティア活動が盛んです。校内では生徒会が、校外では吹奏楽部、ダンス部、インターアクト部がボランティア活動の中心です。

インターアクト部は清掃活動や募金活動、地域行事や福祉施設等の活動の手伝いを行っています。

### ◆鳥栖商業高校の「インターアクト部」の活動を紹介します。

インターアクトとは「インターナショナル(国際的)」と「アクション(行動)」という2つの語が複合されてできた名称です。120以上の国や地域に存在する青少年のための社会奉仕クラブで、本校インターアクト部では、鳥栖市ロータリークラブからの支援を受けながら活動をしています。活動内容は、募金活動、社協主催行事への手伝い、鳥栖市主催の清掃活動、特別支援学校や福祉法人の文化祭や体育祭の手伝い、幼稚園や老人会の運動会の手伝い、地域納涼祭の準備、開催、後片付けの手伝い等を行っています。

◆鳥栖市社協主催の行事では、三週間にわたって開催される「夏休み子ども教室」、「小学生や中学生ボランティア体験スクール」で、子どもたちと一緒に作業をしたり、教室のお手伝いを行ったりしています。また、高齢者施設主催で開催される納涼祭へは準備から開催、後片付けまで手伝っています。感謝の言葉を聞くと疲れが一度に吹き飛びます。秋には老人会と幼稚園の運動会、障害者施設の文化祭の手伝いも行っています。関係者の方々から温かいお言葉をいただき感動を覚えることもあります。毎月第二土曜日の公民館での「宿町食堂」という高齢者対象の食事会の手伝いも行っています。



【宿町食堂】



【あしなが育英募金】



【小学生夏休み一輪車教室】



【インターアクト部指導者講習会(SDGs)】

◆ユニセフには、募金活動で協力をしています。4月のサガン鳥栖オープニングゲームに合わせて行われるユニセフ募金活動や、12月に全国一斉に行われる「ハンド・イン・ハンド」募金活動には全員で参加しています。

昨年4月の募金活動は、あいにくの雨でしたが、駅前不動産スタジアムに訪れた方々から募金や小さな子どもからの声援でとても勇気づけられました。

◆最後に、インターアクト部担当の藤光禎史先生に、この活動の意義や今後の展望について伺いました。

今年度も新1年生が20名ほど入部予定で、また活動が活性化するものと期待しています。今は新型コロナウイルスで活動も自粛していますが、終息すれば、さらに施設慰問活動を増やしていきたいと考え、認知症予防体操や歌、踊り等を練習しようと考えているところです。

(原稿提供：鳥栖商業高等学校 藤光禎史 先生 取材：江島きよ子)

### ユニセフ募金活動への協力



【サガン鳥栖戦会場での募金活動】



【ハンドインハンド街頭募金活動】